海洋ゴミの収集を目的とした海中データ収集プラットフォームの実現に関する研究

1922014 佐藤穂花

目次

- 研究背景
- 研究目的
- Webサービス
- 情報構築システム
- 今後の展望
- 参考文献

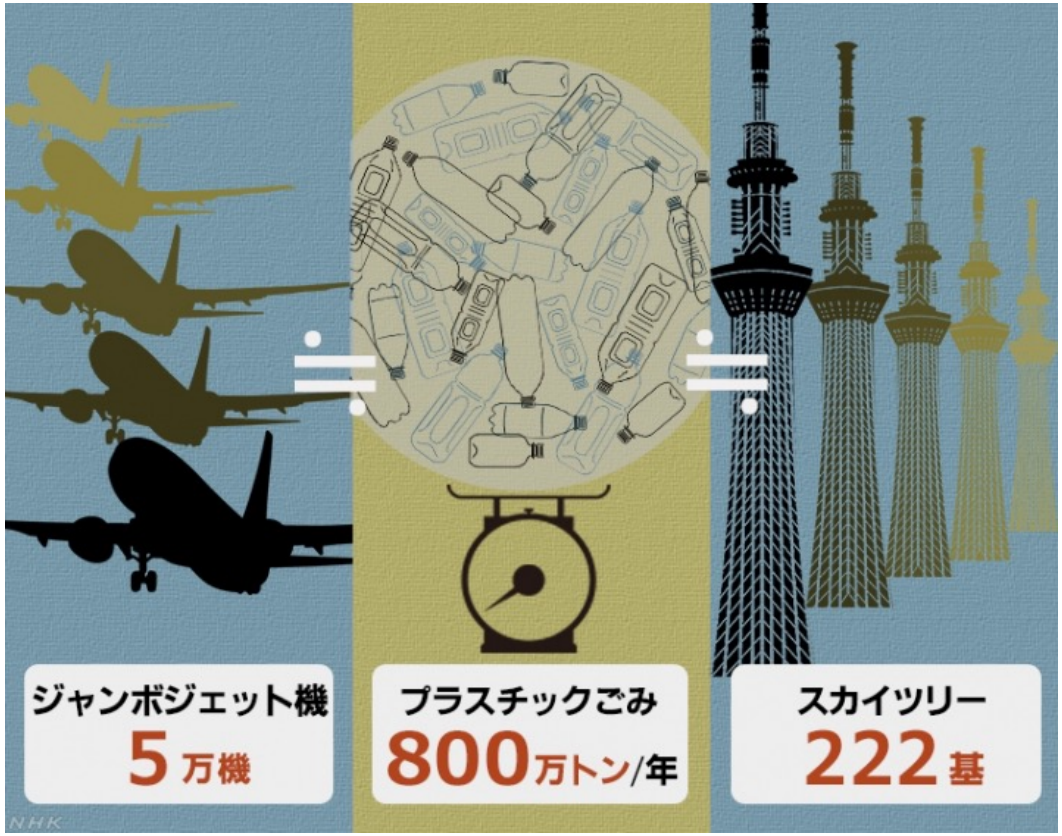
いきなりですが、問題です！！

この数字は何を示していると思いますか？

800万トン

正解は、、、

世界で、プラスチックがごみとして海に流れ込んでいる量の推計



研究背景

～海のプラスチックの量は、2050年までには魚の量を上回る～

環境省の資料によると、1964年～2014年の **50年間で**、世界のプラスチック生産量はの**20倍以上に急増**していて、毎年少なくとも**800万トン**ものプラスチックが海に流れ出ている。

研究目的

・ダイバーにしかできない水中クリーンアップ活動と情報発信の促進

・地方自治体/マリンスポーツの団体/地元の人がクリーン活動やゴミ調査を各自発信していたため、分散していた情報の一元管理化

・絶対的な手法が見つかっていない海中データの収集

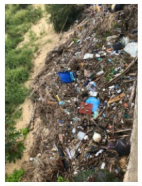
Webサービス

http://gms.gdl.jp/~honoka/sea/upload.php

・**海中ゴミ情報収集システム**により、海岸などの陸だけではなく、海底ゴミのモニタリングを行う

・収集した（見つけた）ゴミに関する情報の提供機能

・ゴミに関する情報を含めた活動報告のタイムライン


コメントを入力する プラスチック

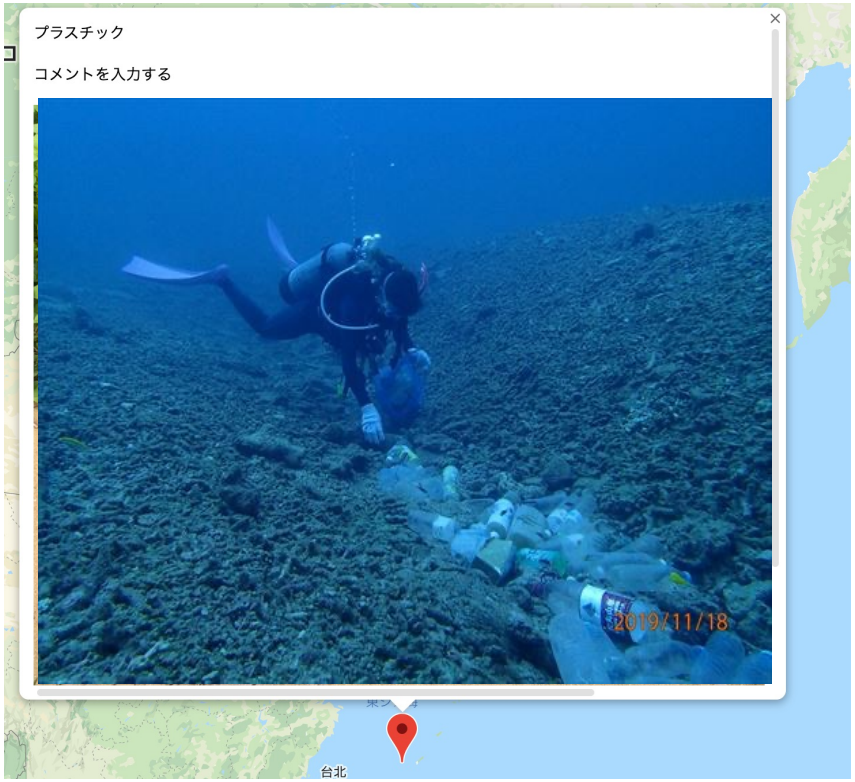
コメントを入力する プラスチック

コメントを入力する プラスチック

コメントを入力する プラスチック

Webサービス

http://gms.gdl.jp/~honoka/sea/map.html



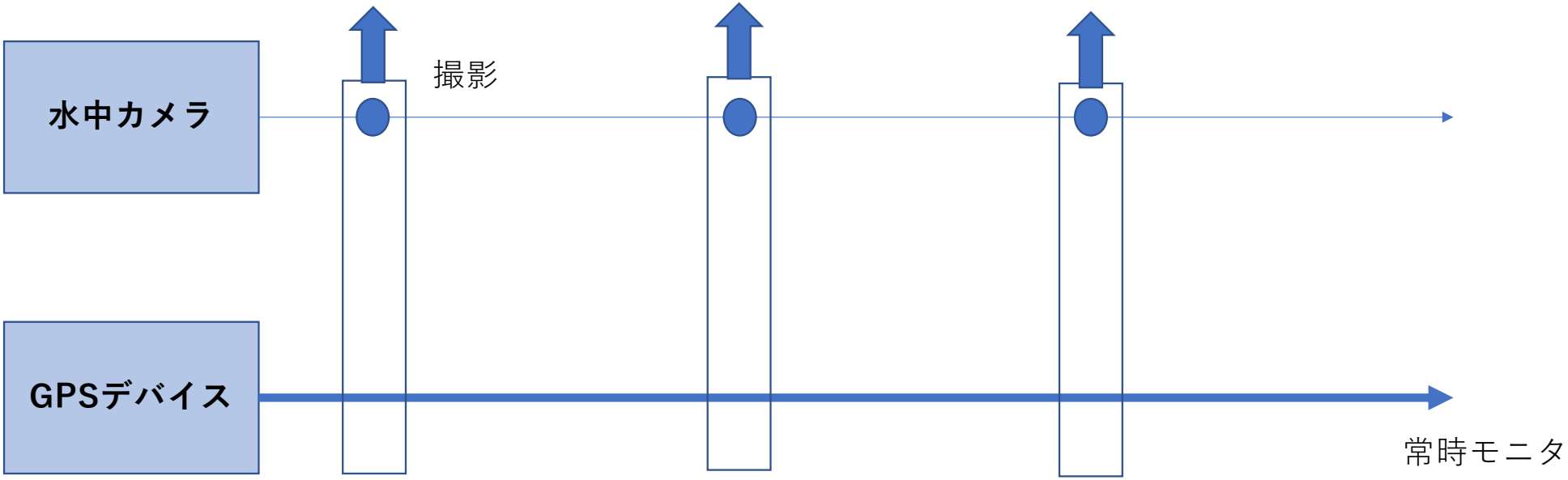
https://img-cdn.jg.jugem.jp/3ec/1976439/20191203_2850129.jpg

・収集した（見つけた）ゴミのマッピング

→どこにどのようなゴミがあるか一目で確認可能

海中ゴミ情報収集システム

1.GPSデータと照合し写真や動画をアップロード(360度カメラ推奨)
2.ゴミの種類など入力する
3.マッピングを行う



今後の展望

現在

情報収集

- 海中ゴミ情報収集システムの完成

分析

- ５Ｄワールドマップを用いた分析

可視化

- 多角的分析の可視化

参考文献

・NHK. 1から分かるプラスチック問題
https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/jiji/jiji17/
(最終検索日：2021年 2月1日)

・Project AWARE Foundation. Project AWARE～美しい海を守りたい～
https://www.padi.co.jp/visitors/aware/
(最終検索日：2021年 2月1日)